

シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
数学	数学総合 I	普通科・3年生・文系	2
教科書 副教材等	[主たる教材] [副教材]	高等学校数学 I、高等学校数学 A (数研出版) イニシャルノート I + A (数研出版) Focus Z 数学 I + A (啓林館)	

1 科目の目標

数学における概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高めるとともに、課題を総合的かつ多面的に考察することを通して、思考力・判断力・表現力を高め、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育成する。

2 科目の内容

- (1) 既習事項の総合的な復習
- (2) 発展的な内容の学習
- (3) 他の単元と関連させた総合的かつ多角的な考察
- (4) 適切なテーマによる課題学習

3 授業計画 (総コマ数 $35 \times 2 = 70$)

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
4月 5月	数学 I 第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数 第3節 1次不等式 第4節 集合と命題 ○1学期中間考査	9	公式や定理の背景にある数学的な見方や考え方に触れるよう心がける。他の単元との関連について考え、様々な別解を考えることで総合的かつ多角的に問題を扱う。
5月 7月	数学 I 第2章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と2次不等式 数学 I 第4章 データの分析 ○1学期期末考査	13	
7月 10月	数学 I 第3章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用 数学 A 第3章 整数の性質 第1節 約数と倍数 第2節 ユークリッドの互除法 第3節 整数の性質の活用 ○2学期中間考査	18	「課題学習」では、各自の課題や生徒全体の到達状況に合わせ、適切なテーマを設定する。
10月 12月	数学 A 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率 ○2学期期末考査	18	

12月 3月	数学A 第3章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形 「課題学習」 ・身近な関数についての研究 ・生活の中の確率についての研究		
	○学年末考査	12	

計 70 時間 (55 分授業)

4 学習評価

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
評価 の 観点 ・ 規 準	<ul style="list-style-type: none"> 習得した知識や技能を活用し、探究しようとしている。 数学的論拠に基づいて判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を多様な単元や分野と関連させ、総合的に事象を考察している。 他者の考えを参考に多面的、発展的に考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象を数学的に考察できている。 自らの思考の過程やその結果を論理的に表現でき、数学的に表現・処理できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学における概念や原理・法則、用語や記号などが体系的に理解できている。
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加状況 発表内容 レポートの内容 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 質問に対する発言 発表内容 プリントや課題の解法 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 質問に対する発言 発表内容 プリントや課題の解法 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 質問に対する発言 発表内容 授業中の確認テスト

5 担当教員

数学科教諭

6 担当者からのメッセージ

数学 I A の基本事項の確認を中心に行い、後半は、それらを土台にしてさらに総合的な問題にも取り組みます。予習、授業、復習のサイクルを改めて見直し、課題や小テストを通して、授業で学んだことをしっかり定着させてください。

他の単元との関連について考え、様々な別解を考えることで総合的かつ多角的に問題を扱っていきます。